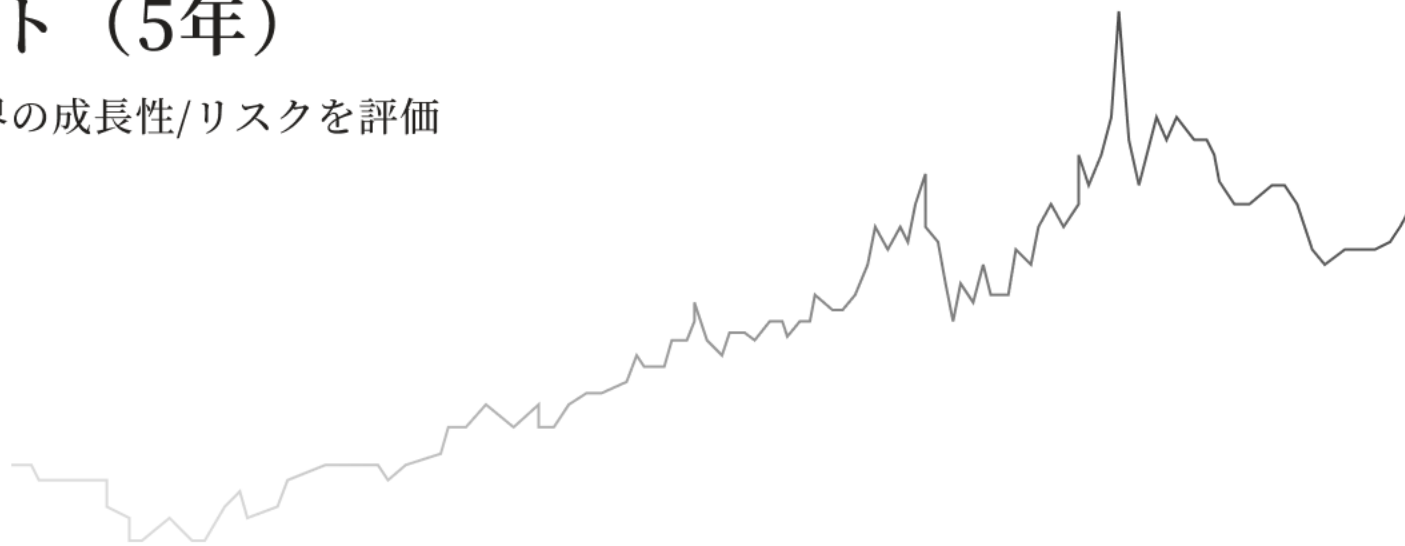


機械部品メーカー

業界予測レポート（5年）

5年以内の将来における業界の成長性/リスクを評価



機械部品メーカー

| | |
|--------|--|
| 業界定義 | 機械部品メーカーは、下位業界に工作機械部品メーカー、産業機械部品メーカー、重電機器部品メーカー、輸送機械部品メーカー、その他の機械部品メーカー、エレクトロニクス製品部品メーカーを含む業界である。 |
| 主要企業 | 株式会社デンソー、アイシン株式会社、キオクシア株式会社、ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社、住友電気工業株式会社、マイクロンメモリジャパン株式会社、トヨタ紡織株式会社、住友電装株式会社、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社、矢崎総業株式会社、シャープディスプレイテクノロジー株式会社、株式会社ジェイテクト、豊田合成株式会社、ミツミ電機株式会社、日本サムスン株式会社、他 |
| 国内市場規模 | 41兆8,239億円 (所属企業における、当業界主要製品の国内推定売上高を全社合計し算出) |

本レポートが提供する評価結果の概要紹介



本業界の市場規模成長性評価

A

国内市場規模

41兆8,239億円

市場規模予測成長率（5年）

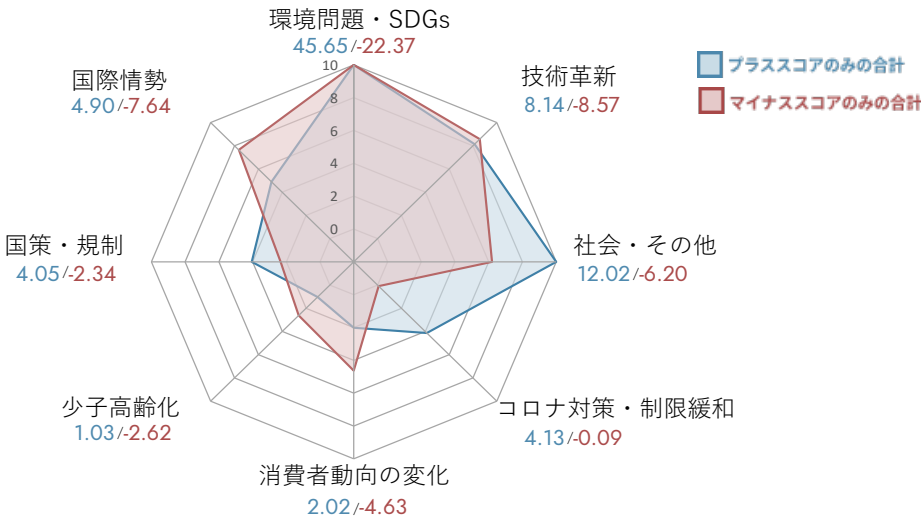
27.48%

解説

機械部品メーカーの国内市場規模は、現在の41兆8,239億円 から、今後5年間で27.48%成長し53兆3,164億円に達すると予測する。先進運転支援システム需要増加による半導体需要増加や電気自動車需要増加による自動車向けワイヤーハーネス需要増加、電気自動車需要増加によるLSI需要増加の影響が大きいと予測する。市場環境の変化をカテゴリー別に見ると、環境問題・SDGsによる影響が大きいと予測する。当業界の企業については、キオクシア、ソニーセミコンダクタソリューションズ、マイクロンメモリジャパンが比較的高い成長性と予測され、アイシン、デンソー、トヨタ紡織はともに低い成長性と予測する。



本業界に今後生じる重要な市場環境の変化



⇒ 詳細は9ページへ



本業界に関連する今後成長/衰退する製品・サービス（上位5個）

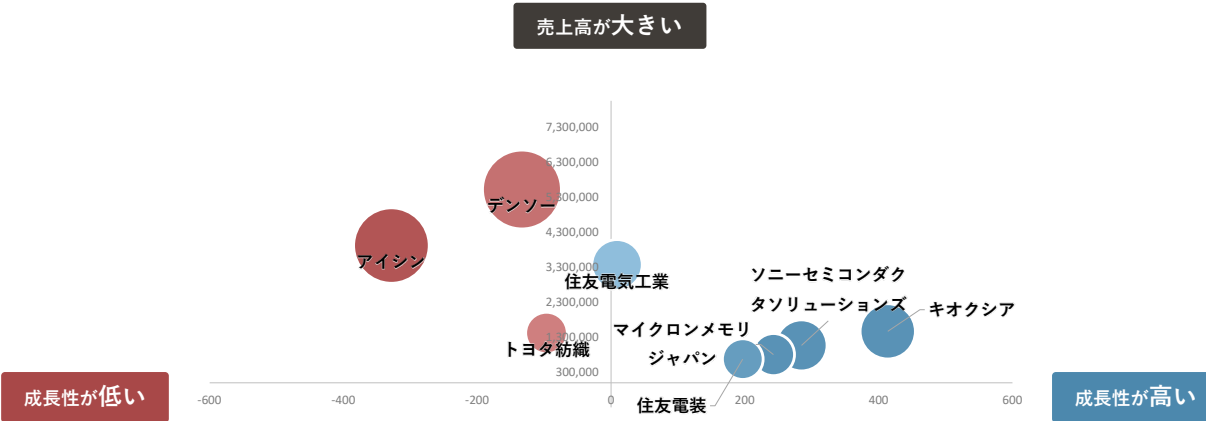
| 今後成長/衰退する製品・サービス | 業績への影響 | 主な影響シナリオ |
|------------------|--------|---|
| 半導体 | 20.20% | 先進運転支援システム需要増加→半導体需要増加 |
| 自動車向けワイヤーハーネス | 17.71% | 電気自動車需要増加→EV用自動車部品需要増加→自動車向けワイヤーハーネス需要増加 |
| 自動車部品 | -7.38% | レベル4自動運転利用拡大（レベル3以前発生シナリオ除く）→自動運転ライドシェアサービス需要増加→自動車需要減少→自動車部品需要減少 |
| LSI | 2.47% | 電気自動車需要増加→EV用自動車部品需要増加→LSI需要増加 |
| パワートレイン部品 | -1.95% | ガソリン車需要減少→パワートレイン部品需要減少 |

⇒ 詳細は14ページへ



業界プレイヤーのポジショニング

機械部品メーカー（全 16,788社）



⇒ 詳細は5ページへ

市場規模成長性評価

現在の国内市場規模

41兆8,239億円

市場規模成長性評価

総合評価

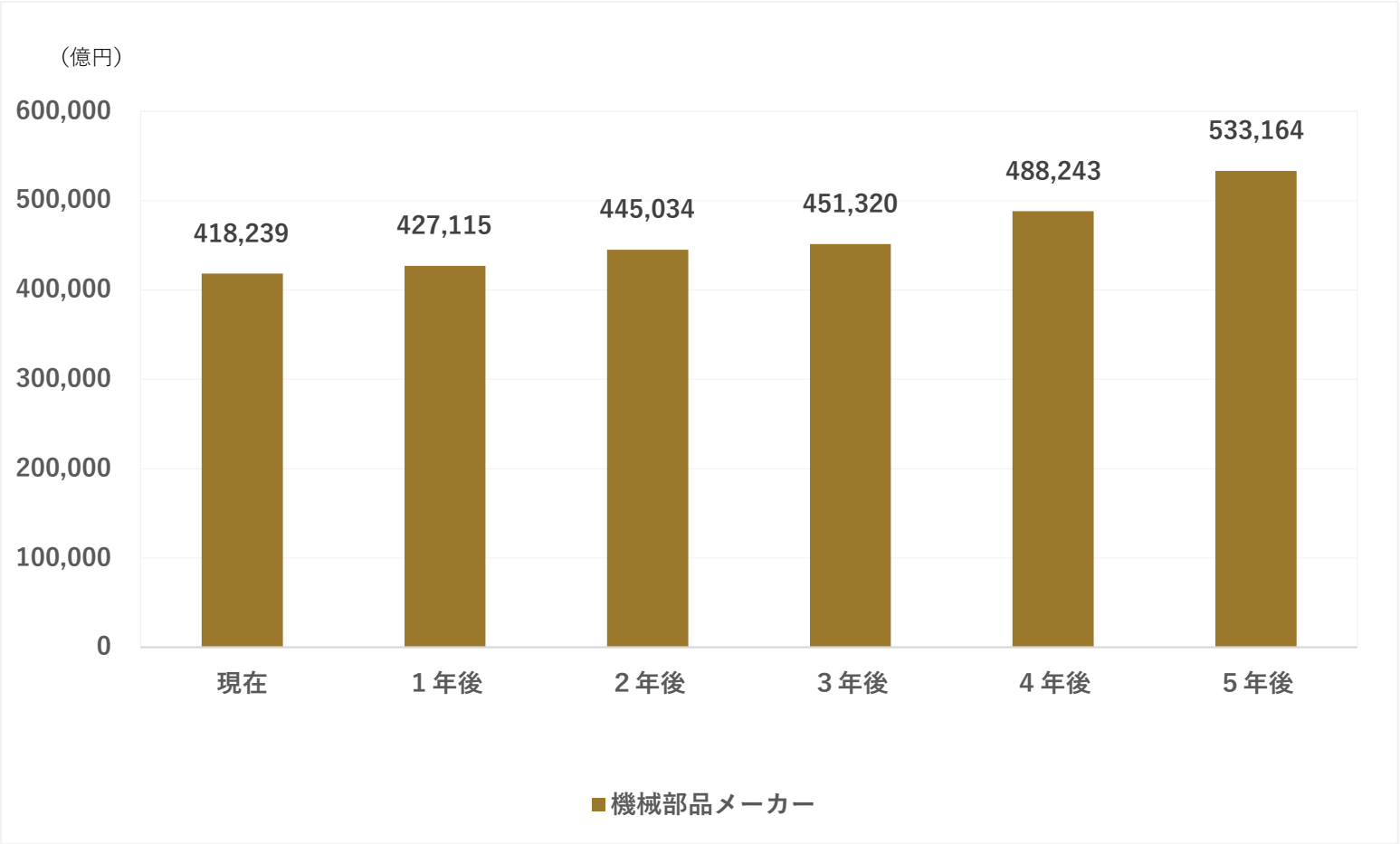
A

市場規模予測成長率（5年）

27.48%

解説

機械部品メーカーの国内市場規模は、現在の41兆8,239億円と推計。今後5年間で27.48%成長し53兆3,164億円に達すると予測する。全体として27.48%の成長と予測する。また、時系列で見ると、5年後、4年後の成長が比較的大きいと予測する。

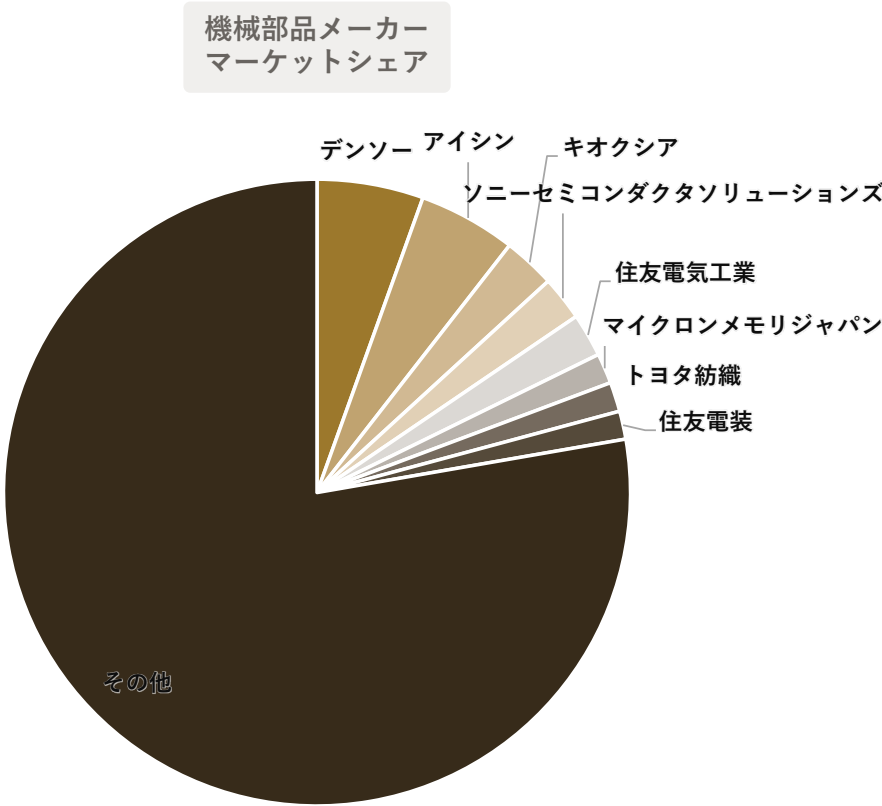


※ 機械部品メーカーの市場規模予測成長率は、現在の市場規模金額41兆8,239億円を元に、営業利益予測成長率を252.54%、営業利益率を6.34%、変動費率を41.7%として計算しています。

国内マーケットシェア

機械部品メーカー

当業界は機械部品を主要製品として持つ企業群であり、国内市場の主要プレイヤーにはデンソーやアイシン、キオクシア等がある。

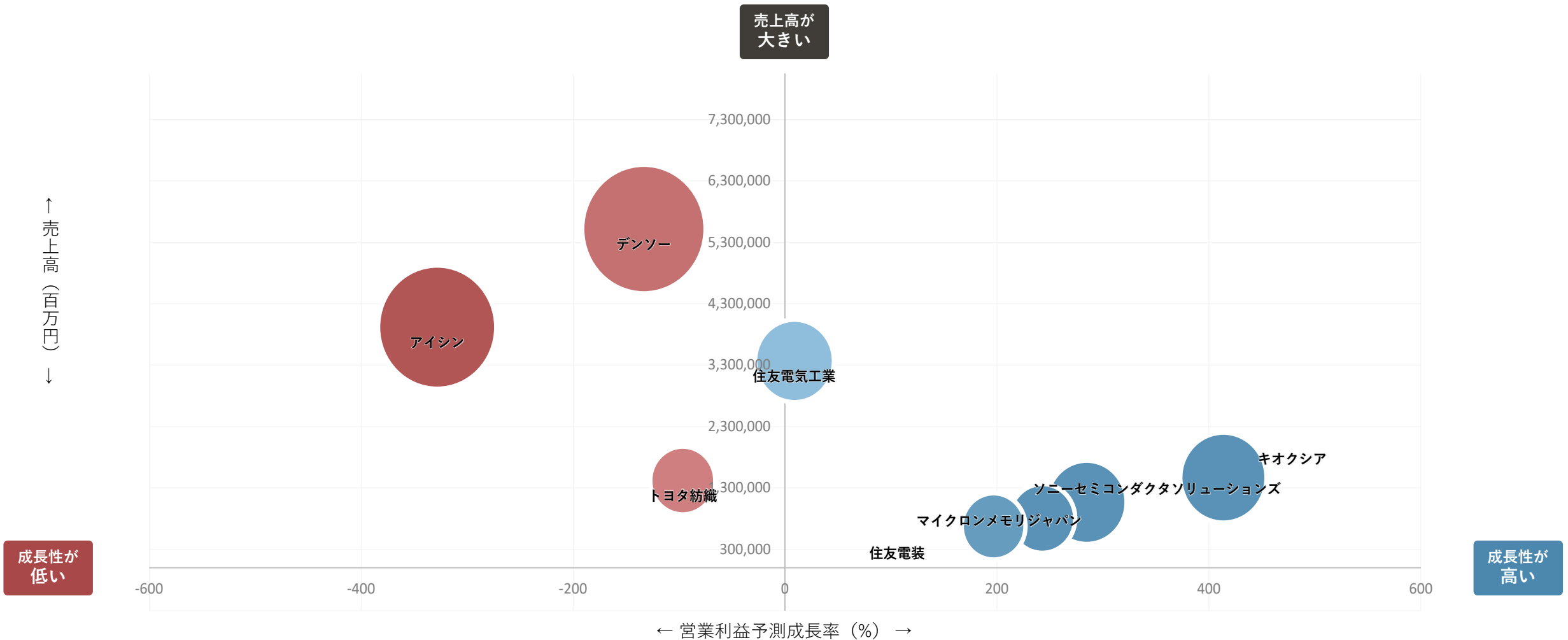


| マ ー ケ ッ ト シ ェ ア 順 位 | 機 械 部 品 メ ー カ ー 業 界 国 内 マ ー ケ ッ ト シ ェ ア 上 位 企 業 8 社 | A ÷ 業 界 全 企 業 に お け る A の 合 計 × 100（%） 国内マーケット シェア （推定） | A B×C×D 国内機械部 品売上高 （百万円） （推定） | 算出用基礎データ | | |
|--|--|--|--|---------------------|-----------------------|-----------------------|
| | | | | B | C | D |
| | | | | 売上高 （百万円） （※） | 機械部品売 上依存度 （推定） | 国内売上高 構成比率 （推定） |
| 1 | デンソー | 5.49% | | | | |
| 2 | アイシン | 5.04% | | | | |
| 3 | キオクシア | 2.68% | | | | |
| 4 | ソニーセミコンダクタソリューションズ | 2.29% | | | | |
| 5 | 住友電気工業 | 2.24% | | | | |
| 6 | マイクロンメモリジャパン | 1.56% | | | | |
| 7 | トヨタ紡織 | 1.52% | | | | |
| 8 | 住友電装 | 1.45% | | | | |
| | その他 | 77.74% | | | | |
| | 合計 | 100.00% | | | | |

※国内市場のプレイヤーは、xenoBrain格納日本企業約40万社を母集団として抽出しています。
※上場企業で連結財務諸表を開示している場合は連結売上高、それ以外はすべて単体の売上高で計算しています。
※***** データサプライヤーとの契約によりダウンロードできない項目です。xenoBrain画面上ではご確認いただけます。

営業利益予測成長率分布

解説
機械部品メーカー業界では、マーケットシェア上位8社のうち、5社が成長すると予測され、3社が衰退すると予測する。



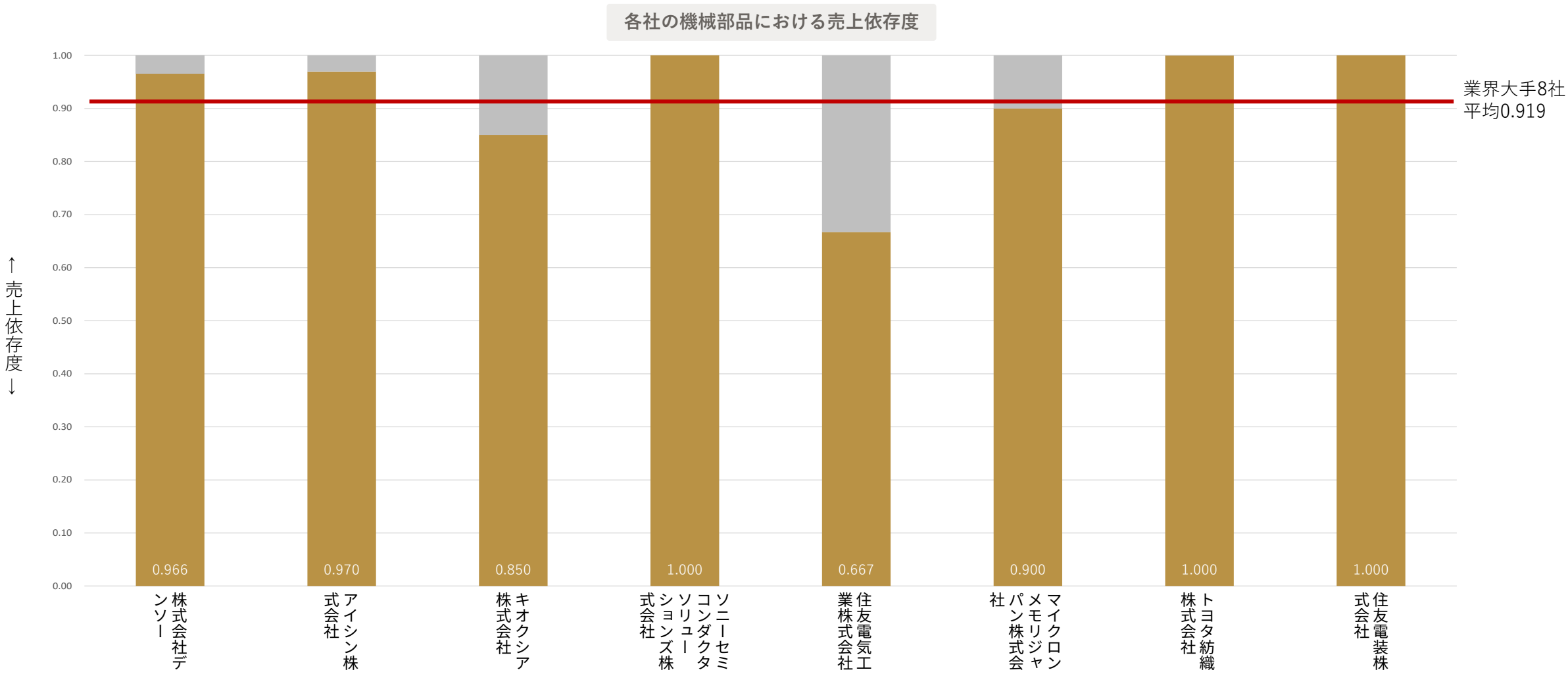
※マーケットシェアの大きい上位8社（8社に満たない場合は業界の全ての企業）を表示しています。
※縦軸の売上高は、上場企業で連結財務諸表を開示している企業は連結売上高、それ以外の企業はすべて単体の売上高を表示しています。
※横軸の営業利益成長率は、各企業の概ね5年程度の成長性を営業利益成長率で換算した値を表します。
※円の大きさは、各企業の国内マーケットシェアの大きさを表します。

主要製品・サービスでの競合比較

表の見方について

解説

マーケットシェア上位8社について、業界主要製品である機械部品の売上依存度を表示しています。



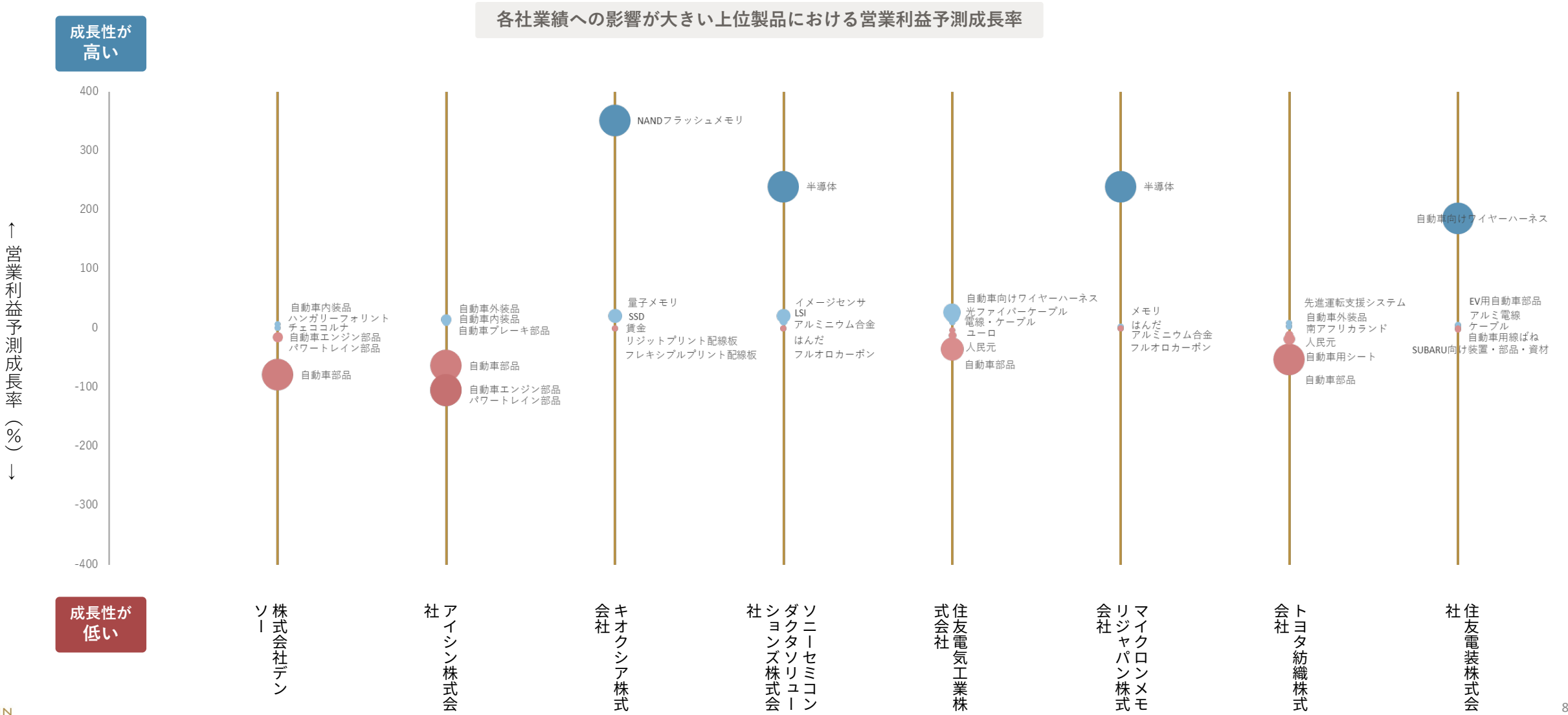
※開示資料の文章や企業HP、セグメント構成比率等から製品・サービス別推定売上高構成比率を取得し、売上依存度としてxenoBrain独自の方法により推定しています。

主要製品以外の製品・サービスでの競合比較

表の見方について

解説

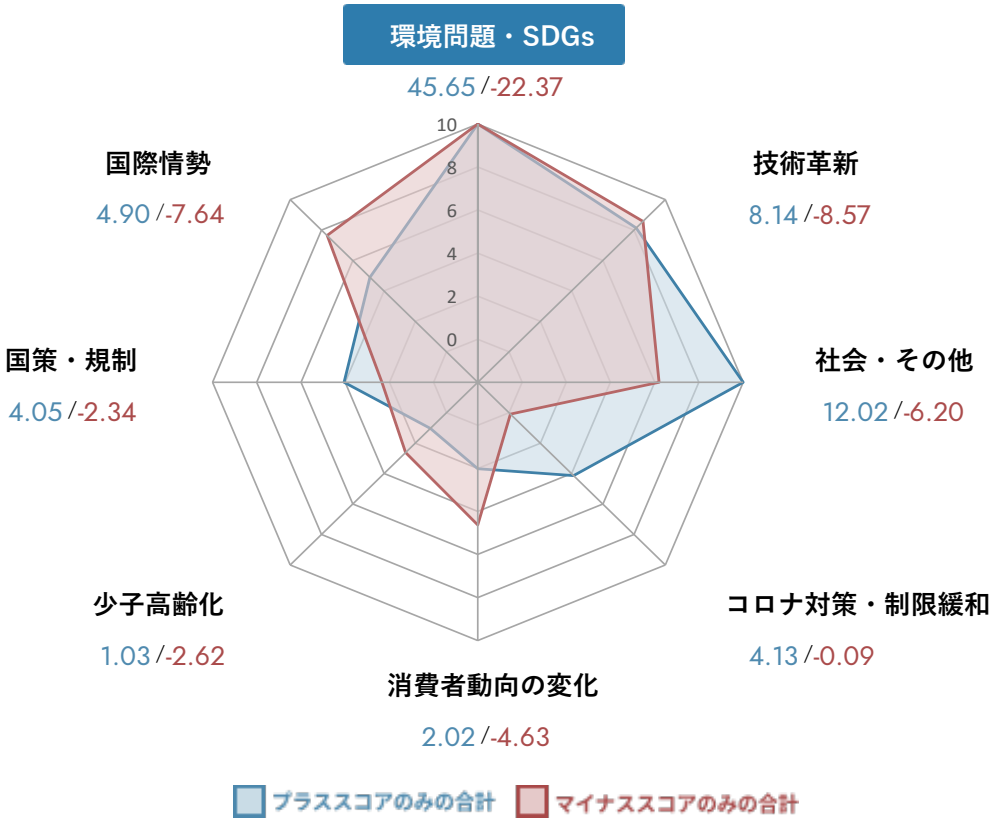
マーケットシェア上位8社について、業界主要製品である機械部品以外の営業利益予測成長率を表示しています。



カテゴリー別 レーダーチャート

解説

今後5年間で機械部品メーカーに影響する市場環境の変化を8つのカテゴリーに分類すると、拡大、減少共に環境問題・SDGsの影響が大きいと予測する。具体的なプラス要因は、燃料電池自動車需要増加や電気自動車需要増加、自動車メーカーSDGs進展と予測する。具体的なマイナス要因は、ガソリン車需要減少や豪雨発生頻度上昇、洪水発生頻度上昇と予測する。



環境問題・SDGs

市場の成長にポジティブな影響が大きい社会トレンド トップ5

| 社会トレンド | スコア | 影響経路（複数ある場合は最も影響が大きい経路） |
|-----------------|--------|---|
| 燃料電池自動車需要増加 | 11.35% | 燃料電池自動車需要増加→タイヤ需要増加→合成ゴム需要増加→合成ゴム価格上昇 |
| 電気自動車需要増加 | 11.06% | 電気自動車需要増加→タイヤ需要増加→合成ゴム需要増加→合成ゴム価格上昇 |
| 自動車メーカーSDGs進展 | 4.66% | 自動車メーカーSDGs進展→電気自動車需要増加→銅価格上昇 |
| 自動車部品メーカーSDGs進展 | 4.16% | 自動車部品メーカーSDGs進展→燃料電池自動車用部品需要増加→LSI 需要増加 |
| 排出量取引制度進展 | 1.69% | 排出量取引制度進展→CO2削減需要増加→ハイブリッド車需要増加→自動車部品需要増加 |

環境問題・SDGs

市場の成長にネガティブな影響が大きい社会トレンド トップ5

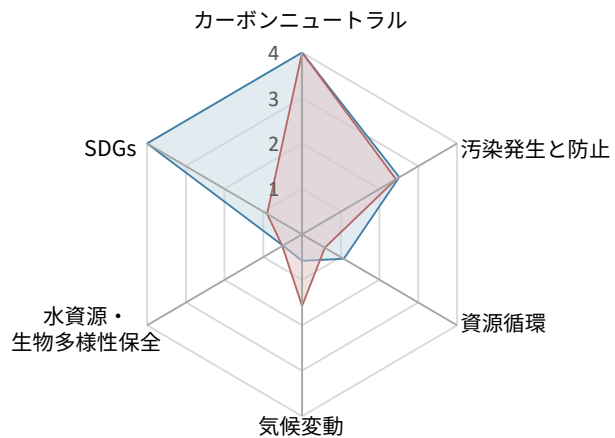
| 社会トレンド | スコア | 影響経路（複数ある場合は最も影響が大きい経路） |
|----------------|---------|---|
| ガソリン車需要減少 | -12.60% | ガソリン車需要減少→自動車用タイヤ需要減少→合成ゴム需要減少→合成ゴム価格下落 |
| 豪雨発生頻度上昇 | -0.48% | 豪雨発生頻度上昇→物流量減少→自動車需要減少→自動車部品需要減少 |
| 洪水発生頻度上昇 | -0.48% | 洪水発生頻度上昇→物流量減少→自動車需要減少→自動車部品需要減少 |
| 国境炭素税導入 | -0.39% | 国境炭素税導入→航空機需要減少→非鉄金属需要減少→非鉄金属価格下落 |
| 天然資源採掘業界SDGs進展 | -0.22% | 天然資源採掘業界SDGs進展→ニッケル需要増加→ニッケル価格上昇→ステンレス鋼価格上昇 |

サブカテゴリー別総合評価

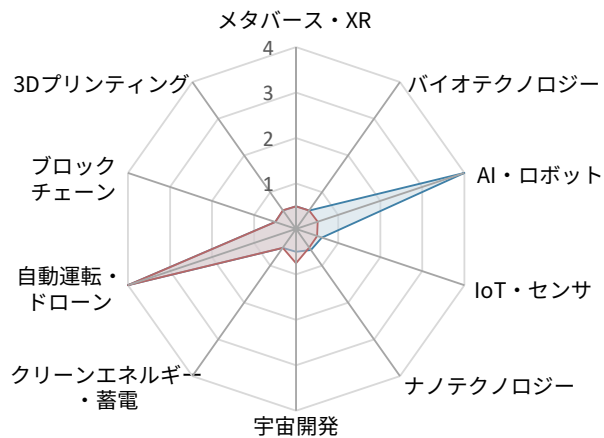
表の見方について [📄](#)

前ページの各カテゴリーについて、さらに詳細に分類したサブカテゴリー別に市場環境の変化からの業績影響を予測する。

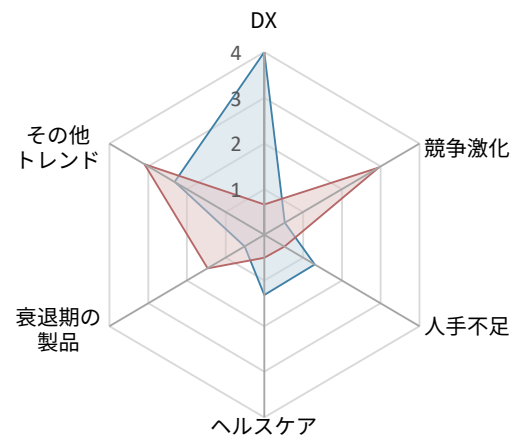
環境問題・SDGs



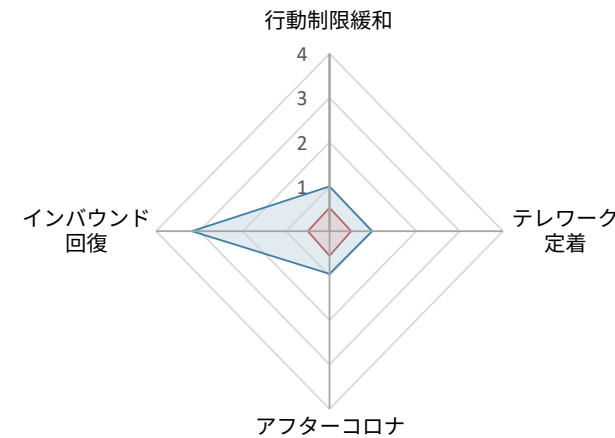
技術革新



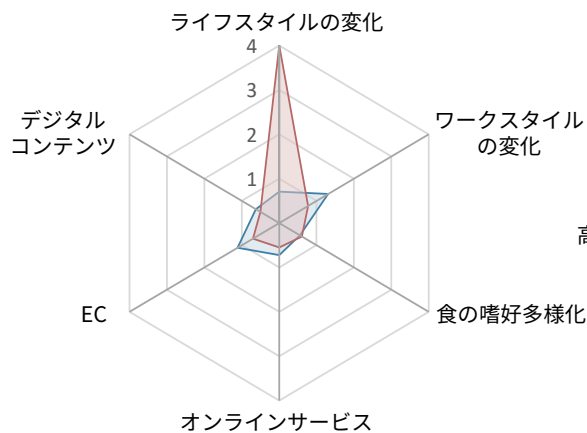
社会・その他



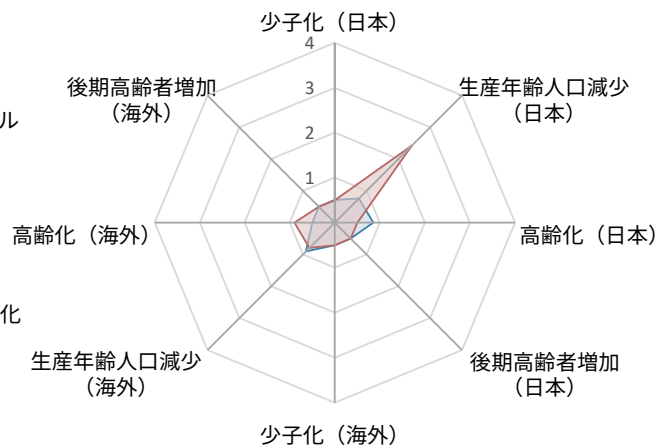
コロナ対策・制限緩和



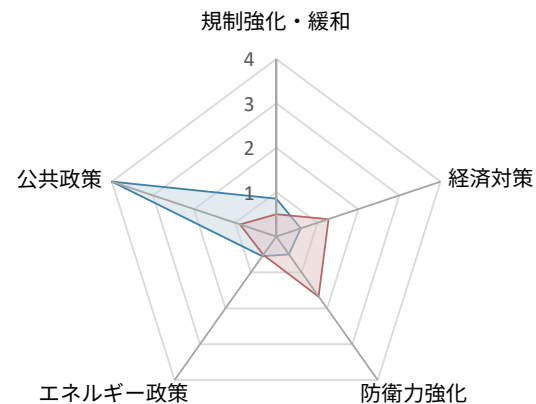
消費者動向の変化



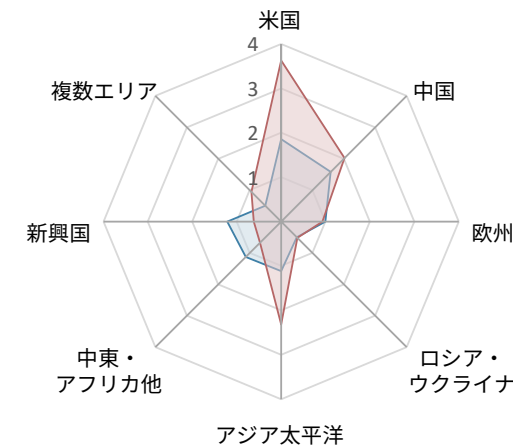
少子高齢化



国策・規制



国際情勢



| カテゴリー | カテゴリー毎の営業利益予測成長率 | サブカテゴリー | サブカテゴリー毎の営業利益予測成長率 | | | 主要影響経路 |
|-----------|------------------|-------------|--------------------|--|--|---|
| 環境問題・SDGs | 23.28% | カーボンニュートラル | 14.15% | | | ガソリン車需要減少(-12.6)、燃料電池自動車需要増加(11.35)、電気自動車需要増加(11.06)、排出量取引制度進展(1.69)、CO2削減需要増加(1.13) |
| | | 汚染発生と防止 | 0.09% | | | 光化学スモッグ発生(-0.19)、SOx規制対応本格化(-0.16)、VOC（揮発性有機化合物）対策進展(0.15)、PM2.5対策進展(0.14)、フードロス削減進展(0.07) |
| | | 資源循環 | 0.49% | | | 3R進展(0.35)、使い捨てプラスチック規制強化(0.07)、環境保全需要増加(0.07)、ペーパーレス化進行(0.06)、廃棄物輸入規制強化(-0.04) |
| | | 気候変動 | -0.99% | | | 豪雨発生頻度上昇(-0.48)、洪水発生頻度上昇(-0.48)、自然災害発生頻度上昇(-0.02)、平均気温4度上昇シナリオ(-0.02) |
| | | 水資源・生物多様性保全 | -0.01% | | | 安全な水確保(-0.01) |
| | | SDGs | 9.56% | | | 自動車メーカーSDGs進展(4.66)、自動車部品メーカーSDGs進展(4.16)、バス会社SDGs進展(0.33)、二輪車メーカーSDGs進展(0.33)、医療機器メーカーSDGs進展(0.27) |
| 国際情勢 | -2.75% | 米国 | -1.77% | | | USMCA発効(-1.07)、政策金利利率上昇(-0.55)、バイオエタノール混合ガソリン規制緩和(0.45)、米国経済停滞(-0.39)、パリ協定離脱撤回(-0.37) |
| | | 中国 | -0.44% | | | 米中対立激化(-0.36)、台湾有事リスク上昇(0.32)、中国経済停滞(-0.29)、軍事予算拡大（中国）(-0.12)、グローバルサプライチェーンリスク上昇(0.04) |
| | | 欧州 | 0.07% | | | 日欧EPA発効(0.4)、欧州経済停滞(-0.14)、スコットランド独立運動発生(-0.11)、ブレグジット発生(-0.11)、日英EPA発効(0.09) |
| | | ロシア・ウクライナ | -0.01% | | | ロシア市況悪化(-0.01)、軍事予算拡大（ロシア）(-0.01)、対ウクライナ軍事支援拡大(-0)、対ロシア経済制裁実施(0)、ウクライナ戦争長期化シナリオ(0) |
| | | アジア太平洋 | -1.20% | | | 日本経済停滞(-1.17)、TPP発効(0.4)、香港国家安全維持法施行(-0.19)、RCEP発効(0.15)、サプライチェーン脱中国依存進展(-0.12) |
| | | 中東・アフリカ他 | 0.45% | | | 地政学リスク上昇(0.45)、ギニア政情不安定リスク上昇(-0) |
| | | 新興国 | 0.60% | | | 経済（GDP成長率）上昇(0.31)、個人所得世帯当たり金額増加(0.25)、民間設備投資金額増加(0.1)、土木需要増加(-0.07)、社会保障制度強化(-0) |
| | | 複数エリア | -0.45% | | | パリ協定発効(-0.41)、国際情勢複雑化(-0.04)、海上貨物輸送供給不足(-0) |
| 国策・規制 | 1.71% | 規制強化・緩和 | 0.36% | | | 医療参入規制緩和(0.27)、企業の農地取得進展(0.04)、ドローン飛行規制緩和(0.03)、自動運転車審査の規制緩和(0.02)、電力自由化(-0) |
| | | 経済対策 | -0.67% | | | 物価上昇継続(-0.57)、社会保障費金額増加(-0.09)、日本円相場下落(-0.02)、アフター黒田相場(0.01) |
| | | 防衛力強化 | -1.17% | | | 防衛増税実施(-1.17)、イージス艦・レーダー整備実施(-0) |
| | | エネルギー政策 | 0.04% | | | 火力発電需要減少（日本）(0.05)、原子力発電需要増加（日本）(-0.01)、水素発電需要増加(-0)、太陽光発電需要増加(-0) |
| | | 公共政策 | 3.16% | | | マイナンバーカード利用拡大(1.36)、スーパーシティ進展(0.62)、IR開業(0.38)、スーパー・メガリージョン構想進展(0.37)、福島復興・再生強化(0.35) |

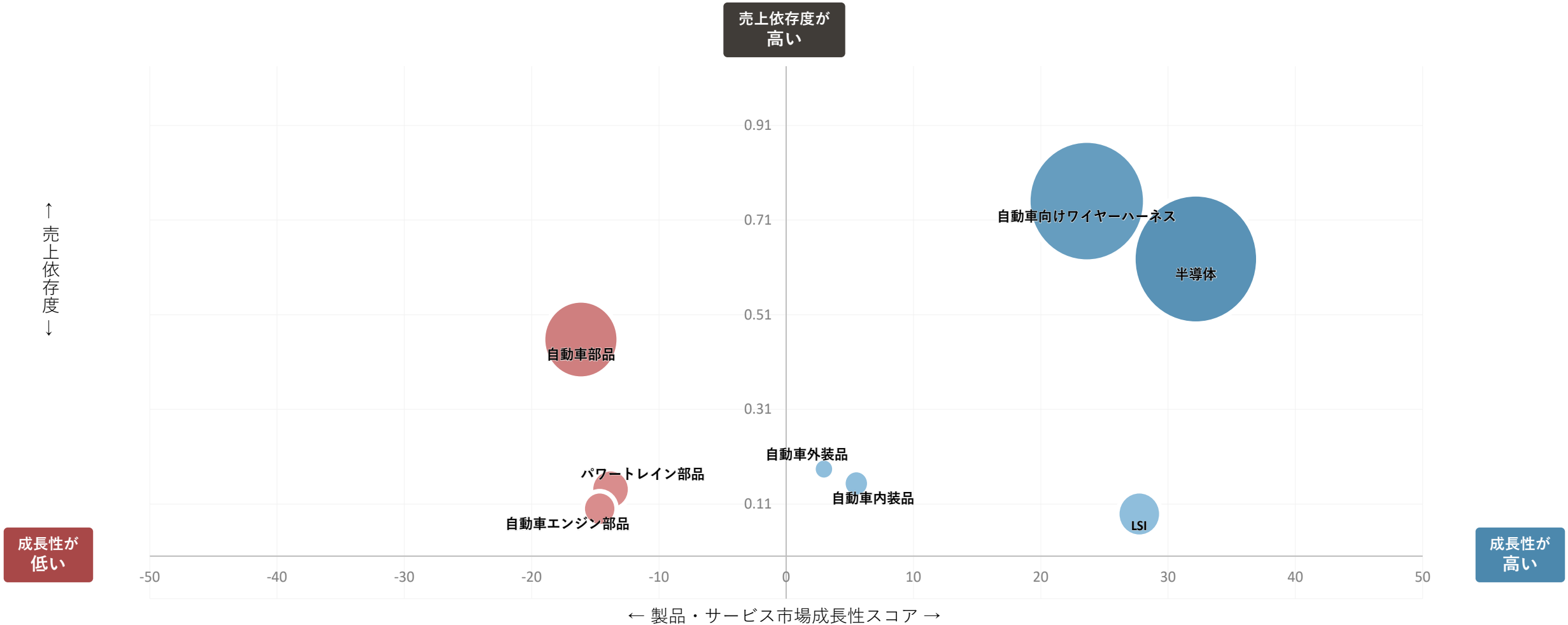
| カテゴリー | カテゴリー毎の営業利益予測成長率 | サブカテゴリー | サブカテゴリー毎の営業利益予測成長率 | | | 主要影響経路 |
|------------|------------------|--------------|--------------------|---|--|---|
| 少子高齢化 | -1.59% | 少子化（日本） | 0.01% | | | 少子化（日本）(0.01) |
| | | 生産年齢人口減少（日本） | -1.67% | | | 生産年齢人口減少（日本）(-1.67) |
| | | 高齢化（日本） | 0.36% | | | 高齢者人口増加（日本）(0.36) |
| | | 後期高齢者増加（日本） | - | - | | - |
| | | 少子化（海外） | 0.00% | | | 少子化（中国）(0)、少子化（欧州）(0) |
| | | 生産年齢人口減少（海外） | 0.11% | | | 生産年齢人口減少（欧州）(-0.2)、生産年齢人口増加（米国）(0.15)、生産年齢人口増加（ブラジル）(0.08)、生産年齢人口増加（インド）(0.08)、生産年齢人口減少（中国）(-0.06) |
| | | 高齢化（海外） | -0.40% | | | 高齢者人口増加（米国）(-0.13)、高齢者人口増加（中国）(-0.07)、高齢者人口増加（欧州）(-0.06)、高齢者人口増加（インドネシア）(-0.04)、高齢者人口増加（インド）(-0.04) |
| | | 後期高齢者増加（海外） | - | - | | - |
| 消費者動向の変化 | -2.61% | ライフスタイルの変化 | -3.78% | | | 若年層の車離れ進行(-2.13)、晩婚化進行(-0.78)、シェアリングエコノミー進展(-0.75)、スマートフォン需要増加(-0.17)、都市化進展(0.06) |
| | | ワークスタイルの変化 | 0.53% | | | 働き方改革推進(0.38)、副業従事者数増加(0.38)、共働き世帯増加(-0.26)、女性社会進出促進(0.03)、外国人労働者人口増加(0.01) |
| | | 食の嗜好多様化 | -0.05% | | | 健康志向拡大(-0.05)、減塩志向拡大(-0.05)、食の嗜好多様化(0.05) |
| | | オンラインサービス | 0.17% | | | キャッシュレス決済利用拡大(0.22)、インターネット利用者数増加(-0.05) |
| | | EC | 0.41% | | | EC利用拡大(0.33)、フードデリバリーサービス需要増加(0.08)、日用品クイックコマース利用拡大(-0)、クイックコマース利用拡大(-0) |
| | | デジタルコンテンツ | 0.12% | | | 動画ストリーミングサービス需要増加(0.05)、オンライン授業需要増加(0.03)、オンライン英会話スクール需要増加(0.03)、音声コンテンツ需要増加(0.01)、音楽ストリーミングサービス需要増加(0) |
| コロナ対策・制限緩和 | 4.04% | 行動制限緩和 | 0.48% | | | 外出自粛緩和(0.5)、国内旅行需要増加(-0.02)、オンライン観光需要増加(0.01)、海外出張需要増加(-0)、外食需要増加(-0) |
| | | テレワーク定着 | 0.48% | | | テレワーク需要増加(0.4)、シェアオフィス需要増加(0.08) |
| | | アフターコロナ | 0.40% | | | アフターコロナ生活様式定着(0.4) |
| | | インバウンド回復 | 2.67% | | | インバウンド需要増加(2.67) |

| カテゴリー | カテゴリー毎の営業利益予測成長率 | サブカテゴリー | サブカテゴリー毎の営業利益予測成長率 | | 主要影響経路 |
|--------|------------------|--------------|--------------------|---|--|
| 社会・その他 | 5.81% | DX | 8.37% | | MaaS進展(2.17)、デジタルヘルス需要増加(1.64)、遠隔医療需要増加(1.38)、DX進展(1.15)、5Gサービス利用拡大(0.67) |
| | | 競争激化 | -2.42% | | 住宅市場競争激化(-1.35)、電気自動車市場競争激化(-1.07)、医療機器市場競争激化(0)、半導体市場競争激化(0) |
| | | 人手不足 | 0.78% | | 企業人手不足(0.57)、物流業界人手不足(0.13)、建設業界人手不足(0.07)、製造業人手不足(0.01) |
| | | ヘルスケア | 0.82% | | アトピー性皮膚炎患者数増加(0.27)、生活習慣病患者数増加(0.27)、糖尿病患者数増加(0.27)、がん患者数増加(-0) |
| | | 衰退期の製品 | -0.96% | | カーオーディオ需要減少(-0.65)、原動機付自転車需要減少(-0.32)、陶器需要減少(0.01)、デジタルカメラ需要減少(0.01)、屋外広告需要減少(0) |
| | | その他トレンド | -0.78% | | バス高速輸送システム利用拡大(-0.87)、空き家数増加(-0.31)、自動車交通事故低減需要増加(0.28)、コールドチェーン需要増加(0.27)、ミレニアム世代台頭(-0.06) |
| 技術革新 | -0.42% | メタバース・XR | - | - | - |
| | | バイオテクノロジー | 0.00% | | 植物工場需要増加(-0)、バイオエレクトロニクス進展(-0) |
| | | AI・ロボット | 3.98% | | AI利用拡大(1.64)、ロボット需要増加(1.37)、マテリアルインフォマティクス需要増加(0.33)、宅配ロボット需要増加(0.31)、掃除ロボット需要増加(0.17) |
| | | IoT・センサ | 0.11% | | IoT市場拡大(0.11)、RFID需要増加(-0)、スマートスピーカー需要増加(-0)、ウェアラブル端末需要増加(-0)、スマートウォッチ需要増加(-0) |
| | | ナノテクノロジー | 0.07% | | 量子コンピュータ利用拡大(0.05)、量子暗号需要増加(0.03)、炭素繊維需要増加(-0)、量子メモリ需要増加(-0)、透明ディスプレイ需要増加(-0) |
| | | 宇宙開発 | -0.25% | | ロケット需要増加(-0.25)、人工衛星需要増加(-0)、宇宙探査機需要増加(-0)、HAPS需要増加(-0)、宇宙開発需要増加(-0) |
| | | クリーンエネルギー・蓄電 | 0.00% | | ワイヤレス電力伝送需要増加(0.01)、蓄電池需要増加(-0.01)、燃料電池需要増加(-0.01)、全固体電池需要増加(-0)、有機薄膜太陽電池需要増加(-0) |
| | | 自動運転・ドローン | -4.32% | | レベル4自動運転利用拡大（レベル3以前発生シナリオ除く）(-7.34)、自動運転需要増加(2.08)、先進運転支援システム需要増加(1.38)、コネクテッドカー利用拡大(-0.47)、ドローン利用拡大(0.05) |
| | | ブロックチェーン | - | - | - |
| | | 3Dプリンティング | -0.01% | | 3Dプリンタ利用拡大(-0.01) |
| 総合評価 | | | 27.48% | | |

業界関連製品・サービスの成長性分布

解説

今後5年間で当業界（機械部品メーカー）の業績に最も影響のある製品は半導体であり、市場が拡大し業績へプラスの影響があると予測する。その他の業績へプラスの影響がある製品は自動車向けワイヤーハーネスやLSIと予測する。一方市場が縮小し、業績へマイナスの影響がある製品には自動車部品やパワートレイン部品、自動車エンジン部品があると予測する。



※縦軸：開示資料の文章や企業HP、セグメント構成比率等を独自のアルゴリズムで解析し、製品・サービス別売上高構成比率を推定した結果を、xenoBrain独自の指標である売上依存度として表示しております。
※横軸：製品・サービス市場成長性スコアは、その製品・サービス市場が市場環境の変化により、今後5年程度でどのように成長/衰退するかを表したxenoBrain独自のスコアです。
※円の大きさ：その製品・サービスの将来当業界にもたらすと予測する市場規模へのインパクト（売上依存度×製品・サービス市場成長性スコア）を示します。

本業界に関連する今後成長/衰退する製品・サービスについてのシナリオ分析

| 今後成長/衰退する製品・サービス | 製品・サービス別売上依存度 | 市場規模インパクト（市場規模予測成長率） | 主要シナリオ毎の市場規模インパクト（市場規模予測成長率） | | | 影響経路 | 主な影響企業 |
|------------------|---------------|----------------------|------------------------------|--|--|---|---|
| 半導体 | 0.628 | 20.20% | 1.37% | | | 先進運転支援システム需要増加→半導体需要増加 | マイクロンメモリジャパン、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、日本サムスン |
| | | | 1.37% | | | マイナンバーカード利用拡大→ICカード需要増加→半導体需要増加 | マイクロンメモリジャパン、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、日本サムスン |
| | | | 1.37% | | | 遠隔医療需要増加→半導体需要増加 | マイクロンメモリジャパン、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、日本サムスン |
| 自動車向けワイヤーハーネス | 0.750 | 17.71% | 8.16% | | | 電気自動車需要増加→EV用自動車部品需要増加→自動車向けワイヤーハーネス需要増加 | 住友電気工業、矢崎総業、住友電装 |
| | | | -8.16% | | | ガソリン車需要減少→ガソリン車用自動車部品需要減少→自動車向けワイヤーハーネス需要減少 | 住友電気工業、矢崎総業、住友電装 |
| | | | 8.16% | | | 燃料電池自動車需要増加→燃料電池自動車用部品需要増加→自動車向けワイヤーハーネス需要増加 | 住友電気工業、矢崎総業、住友電装 |
| 自動車部品 | 0.458 | -7.38% | 1.69% | | | 排出量取引制度進展→CO2削減需要増加→ハイブリッド車需要増加→自動車部品需要増加 | 住友電気工業、豊田合成、トヨタ紡織 |
| | | | 1.69% | | | CO2削減需要増加→ハイブリッド車需要増加→自動車部品需要増加 | 住友電気工業、豊田合成、トヨタ紡織 |
| | | | -1.09% | | | レベル4自動運転利用拡大（レベル3以前発生シナリオ除く）→自動運転ライドシェアサービス需要増加→自動車需要減少→自動車部品需要減少 | 住友電気工業、豊田合成、トヨタ紡織 |
| LSI | 0.089 | 2.47% | 0.97% | | | 電気自動車需要増加→EV用自動車部品需要増加→LSI 需要増加 | ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、日本サムスン、ソニーセミコンダクタソリューションズ |
| | | | -0.97% | | | ガソリン車需要減少→ガソリン車用自動車部品需要減少→LSI 需要減少 | ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、日本サムスン、ソニーセミコンダクタソリューションズ |
| | | | 0.97% | | | 燃料電池自動車需要増加→燃料電池自動車用部品需要増加→LSI 需要増加 | ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、日本サムスン、ソニーセミコンダクタソリューションズ |
| パワートレイン部品 | 0.141 | -1.95% | -0.81% | | | ガソリン車需要減少→パワートレイン部品需要減少 | 豊田合成、デンソー、ジェイテクト |
| | | | -0.13% | | | レベル4自動運転利用拡大（レベル3以前発生シナリオ除く）→自動運転ライドシェアサービス需要増加→自動車需要減少→パワートレイン部品需要減少 | 豊田合成、デンソー、ジェイテクト |
| | | | -0.13% | | | バス高速輸送システム利用拡大→自動車需要減少→パワートレイン需要減少→パワートレイン部品需要減少 | 豊田合成、デンソー、ジェイテクト |
| 自動車エンジン部品 | 0.100 | -1.47% | -0.59% | | | ガソリン車需要減少→自動車エンジン需要減少→自動車エンジン部品需要減少 | 豊田合成、トヨタ紡織、デンソー |
| | | | -0.32% | | | 原動機付自転車需要減少→自動車エンジン需要減少→自動車エンジン部品需要減少 | 豊田合成、トヨタ紡織、デンソー |
| | | | -0.12% | | | 自動車部品メーカーSDGs進展→自動車エンジン需要減少→自動車エンジン部品需要減少 | 豊田合成、トヨタ紡織、デンソー |
| 自動車内装品 | 0.153 | 0.85% | -0.89% | | | ガソリン車需要減少→自動車内装品需要減少 | 豊田合成、トヨタ紡織、デンソー |
| | | | 0.89% | | | 電気自動車需要増加→自動車内装品需要増加 | 豊田合成、トヨタ紡織、デンソー |
| | | | 0.89% | | | 燃料電池自動車需要増加→自動車内装品需要増加 | 豊田合成、トヨタ紡織、デンソー |
| 自動車外装品 | 0.184 | 0.54% | -0.30% | | | ガソリン車需要減少→自動車外装品需要減少 | 豊田合成、トヨタ紡織、アイシン |
| | | | 0.30% | | | 電気自動車需要増加→自動車外装品需要増加 | 豊田合成、トヨタ紡織、アイシン |
| | | | 0.30% | | | 燃料電池自動車需要増加→自動車外装品需要増加 | 豊田合成、トヨタ紡織、アイシン |

※当業界の製品・サービスポートフォリオのうち、今後市場を成長/減少させる製品・サービスをインパクトの大きさ順上位8個（8個ない場合はすべて）について表示しています。
※主要シナリオ毎の市場規模予測成長率と影響経路は、各製品・サービスの上位3つのみ表示しております。